

# えん罪救済の新たな幕開け

The Past, Present and Future of Innocence Efforts in Japan

2016年 **3月20日** (日) 午後1時～午後6時

立命館大学 大阪いばらきキャンパス  
B棟 フューチャープラザ3F コロキウム

シンポジウム参加費 無料  
懇親会参加費 3000円程度  
シンポジウム、懇親会ともに **要事前申込み**  
申込み締切：**2016年3月10日**

## 【プログラム】

※ 同時通訳があります

### オープニング

1. オープニング挨拶

### 第一部 えん罪救済の理論

2. 講演1：アメリカにおけるえん罪原因と司法の諸問題  
ブランドン・L・ギャレット氏 (バージニア大学)
3. 指定討論  
浜田寿美男氏 (立命館大学)、今村 核氏 (第二東京弁護士会)  
指宿 信氏 (成城大学)

休憩

### 第二部 えん罪救済の実践

4. 講演2：アメリカにおけるイノセンス・プロジェクトの役割と現状  
ジャスティン・ブルックス氏 (カリフォルニア・ウェスタン法科大学院)
5. 講演3：日本におけるイノセンス・プロジェクト  
～えん罪救済センターの役割と展望  
稲葉光行氏 (立命館大学)
6. 講演4：東住吉事件におけるえん罪救済の実践  
竹下政行氏 (大阪弁護士会)

休憩

7. パネルディスカッション：えん罪救済の実践  
司 会：笹倉香奈氏 (甲南大学)  
パネリスト：野平康博氏 (鹿児島県弁護士会)  
後藤貞人氏 (大阪弁護士会)  
佐藤博史氏 (第二東京弁護士会)  
ブランドン・L・ギャレット氏 (バージニア大学)  
ジャスティン・ブルックス氏 (カリフォルニア・ウェスタン法科大学院)
8. 指定討論：日本イノセンス・プロジェクトへの期待  
マーク・ゴッドシー氏 (イノセンス・ネットワーク国際委員会 共同議長)  
遠山大輔氏 (京都弁護士会)  
福島 至氏 (龍谷大学)

### クロージング

9. クロージング挨拶 (終了後、会場近くにて懇親会)

イノセンス・プロジェクト (Innocence Project) は、えん罪を訴える人々を無償で支援する、アメリカ発祥の団体です。2016年4月には日本版のイノセンス・プロジェクトとして「えん罪救済センター」(Innocence Project Japan) が立命館大学を中心に始動します。

本シンポジウムでは「えん罪救済」というテーマで、日本とアメリカの現状に関する報告から、新たなえん罪救済について考えます。みなさま奮ってご参加ください。

### 【シンポジウム、懇親会参加申込み・問合せ先】

お名前、ご連絡先およびシンポジウム、懇親会いずれの申込みであるかを明記の上、下記の宛先へ

**2016年3月10日までに必ずお申込みください。**

(事務局：立命館大学

日本版イノセンス・プロジェクト準備室)

#### ■ 住 所：

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1

立命館大学

衣笠リサーチオフィス (R-GIRO)

日本版イノセンス・プロジェクト準備室

#### ■ メール： ipj2015@outlook.com

#### ■ 電話/Fax： 075-466-3362

#### 主催

- 日本版イノセンス・プロジェクト準備室 (えん罪救済センター)

#### 共催

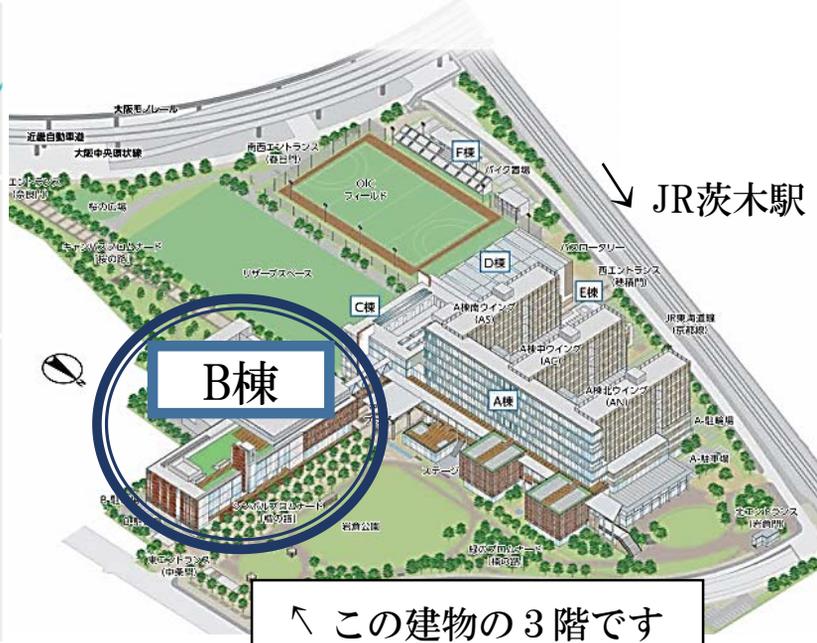
- 立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)「文理融合による法心理・司法臨床研究拠点 (法心理・司法臨床センター)」
- 立命館大学 人間科学研究所・文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 「インクルーシブ社会に向けた支援の<学=実>連携型研究」
- 龍谷大学 矯正・保護総合センター

# 会場へのアクセス方法

立命館大学 大阪いばらきキャンパス B棟フューチャープラザ3階 コロキウム

〒567-8570 大阪府茨木市 岩倉町2-150 (JR茨木駅 東口より徒歩約10分)

アクセス方法→ <http://www.ritsumeit.ac.jp/rs/r2020/campus/oic/access/map.html/>



## JRでお越しの方は



## 阪急電鉄でお越しの方は



## 京阪バスでお越しの方は



## 大阪モノレールでお越しの方は



# 海外ゲスト紹介



ブランドン・L・ギャレット氏  
バージニア大学 教授

“Convicting the Innocent: Where Criminal Prosecutions Go Wrong” (Harvard, 2011) 著者  
邦訳: 笹倉香奈・豊崎七絵・本庄武・徳永光 『冤罪を生む構造』 (日本評論社、2014年)



ジャスティン・ブルックス氏  
カリフォルニア・ウェスタン法科大学院 教授  
弁護士、California Innocence Project 代表  
RED Inocente 創設者兼代表

イノセンス・ネットワーク国際委員会 共同議長

“Wrongful Convictions: Cases and Materials, Second Edition” (Vandeplas Publishing, 2014) 著者



マーク・ゴッドシー氏  
シンシナティ大学、弁護士  
Ohio Innocence Project 代表

イノセンス・ネットワーク国際委員会 共同議長